



地域おこし協力隊通信

第13回

皆さん、こんにちは。能代市地域おこし協力隊の野口です。

2月19日(金)にプラザ都で開催されました「能代市自治会連合協議会研修会・地域づくりセミナー」で、我々にとって初めてとなる活動報告を行いました。能代市地域おこし協力隊が結成されて早いもので1年3カ月。今まで皆さんの活動をしてきました。しかし、なかなか市民の皆さんに我々のことを知っていただけの機会がなかったもので、とても貴重で有意義な時間となりました。報告会の中で驚かれたのは、この協力隊の委嘱期間が3年間であること。私は平成26年12月に着任したので、残りの活動期間は半分となっています。残りの活動期間は半分となつてしまいました。「自分が能代市に来る前に掲げていた目標は達成できそうか」「任期終了後は、どこで何をして生きていくのか」しっかり向き合って計画的に進めていかなければならない時期です。残りの期間を大切にしながら、よりよい報告を皆さんにお届けできるように、引き続き努力してまいります。



会場の様子



活動報告の様子

能代市地域おこし協力隊フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/noshiryokuyokutai>

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、食をテーマに市内で頑張る料理人や店主、料理などを紹介します。



No.54

食人編

とどう商店

三代目店主 登藤 暁洋 さん

字豊祥岱1-323
 ☎52-4681
 営業時間 6:00~20:00
 日曜日の午後以外年中無休

初代・亀之助さんが昭和22年に創業。子どもの遊びものから食料品まで何でもそろう店として親しまれてきた。現在は二代目の富春さんと暁洋さんが引き継ぎ、惣菜を中心にさまざまな商品を取り扱っている。

とどう商店イコールこれ!と言う人も多い人気のおにぎりは全14種類。大きく分けて「しょうゆ」と「のり」、それにシャケやウメ、カラアゲ、タラコなどの具材が入る。絶妙な焼き加減の「しょうゆ」は香ばしさがたまらない。1個110円(税込)。



しょうゆおにぎり

これぞ、おふくろの味!
 “登藤家の食卓”を
 あなたの胃袋に



※能代のちからは、4月10日号から「誘致企業編」としてリニューアルします。



● 今後は?
 (暁洋さん) 遠くから来てくれる人もいます。スーパいやコンビニとは違う地元の店として味を守りたいですね。(富春さん) 家族でやっているの、誰が欠けても大変。健康に気を付けて頑張ります。

● お店のこだわり
 (恵子さん) おにぎりはガス釜でふわっと炊いたあきたこまちを使っています。やっぱり米がおいしいですよ。(暁洋さん) ほら、作ってる人の気持ち、入ってるから。

とどう商店の朝は早い。おにぎりの担当は富春さんの妻、恵子さんだ。朝5時前から炊き立てのご飯を一つひとつ握ること35年。「始めた頃は手が水ぶくれになつてねえ(笑)」。煮物、炒め物、魚料理など40~50種類の惣菜が並ぶ。作り手ごとに得意分野が異なるため、選ぶ楽しみも魅力。プロではないおふくろの味だからこそ、つい寄り道してしまふ帰省客が多いのも納得だ。

読者プレゼント

「とどう商店の選べるおにぎり5個」引き換え券を抽選で5人にプレゼントします。

応募方法 はがきやファクス、Eメールで、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号をお書きの上、地域情報課までお送りください。あて先は3ページに掲載の広報クイズと同じです。

必ず「能代のちから『とどう商店のおにぎり』プレゼント係」と明記してください。

締め切り 3月22日(火)(当日消印有効) ※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。※応募多数の場合、抽選となりますので、広報クイズと読者プレゼントは別々にご応募ください。